教科目名　機械製図Ⅱ　(Machine Drawing Ⅱ)

学科名・学年　：機械工学科　2年
単位数など　：必履修　2単位　（前期1コマ，後期1コマ，学習保証時間45時間）
担当教員　：奥山詳三郎

授業の概要

1年で学んだ基礎的な図面に、更に必要な精度（はめあい，面肌、幾何公差等）の付加価値をつけるための指示法と、機械要素の図示・規格を学び機械製作図のかきかたを身につける．

達成目標と評価と評価方法　　**大分高専目標（B2)，JABEE目標(g)**

(1)製作図に製作精度指示（はめあい・面肌・幾何公差等）ができる（定期試験と課題)．
(2)汎用的な 機械要素の図示、規格の指示が正しくできる（定期試験と課題)．

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1-7	第2章　製作図 2-4 はめあい・幾何公差・面の肌 材料記号	○機械部品の製作精度に必要な「はめあい」「幾何公差」「面肌の指示法」および「材料記号」を図面に指示できる．	【理解の度合い】 【課題の点数】　点
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9 10-11 12-14	前期中間試験の解答と解説 第4章　機械要素の製図 4-1 ねじ 4-2 軸と軸継ぎ手	○代表的な機械要素の中の「ねじ」と「軸・軸継ぎ手」の図示、規格の指示ができる．	【理解の度合い】 【課題の点数】　点
15	前期末試験		【試験の点数】　点
	前期末試験の解答と解説		
16-18 19-22	4-3 軸受け 4-4 歯車	○代表的な機械要素の中の「軸受け」と「歯車」の図示、規格の指示ができる．	【理解の度合い】 【課題の点数】　点
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24 25 26 27-29	後期中間試験の解答と解説 4-5 ﾌﾟｰﾘｰ・スプロケット 4-6 ばね 4-7 溶接	○代表的な機械要素の中の・ﾌﾟｰﾘｰ・スプロケット・ばね・溶接の図示、規格の指示ができる．	【理解の度合い】 【課題の点数】　点
30	学年末試験		【試験の点数】　点
	学年末試験の解答と解説		

履修上の注意	課題作図に重点をおき提出期限を守らせる．
教科書	林洋次ら，「機械製図」，実教出版．
参考図書	
関連科目	機械製図Ⅰ，機械製図Ⅲ
総合評価	到達目標の（1)、(2）について定期試験４０％、課題・小テスト４０％（ただし、重み付け配点)、授業態度２０％で総合評価する．自己都合欠課は1コマあたり1点減点する．

【総合達成度】
【総合評価】　点